

RVT 2010の目的

- 加盟国間での同胞意識と連帯感にもとづく常設の協議体制を確立します。
- 保健人材管理に最も適したマネジメントの観点から優良な経験共有を共有し、促進します。
- RVT2010加盟国内での保健人材にかかわる研究を促進します。
- 加盟国間の保健人材管理を發展させ、促進するためにドナー等パートナーやNGO等と効率的パートナーシップ關係を發展させます。



提供サービス

加盟国内サービス：加盟国間でのネットワークとしての介入（2国間交流）。

加盟国外へのサービス：加盟国外のパートナーネットワークや加盟国外からの要請による介入。

このサービスは各種コミュニケーション（電話、電子メール、ガイドライン共有、テレビ会議等）もしくは専門家派遣で実施します。



ホームページ: www.rvt2010.com
日本語ページ: <https://www.jica.go.jp/project/senegal/004/index.html>

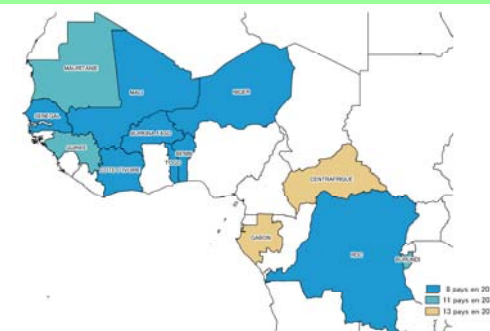
Facebook: [Reseau Vision TOKYO 2010](https://www.facebook.com/Reseau-Vision-TOKYO-2010)

コメントは以下まで（英仏対応）

sndella@gmail.com



RVT2010
(レゾービジョン東京)
アフリカの保健人材發展のために



加盟国（2016年9月現在）

ベナン ブルキナファッソ ブルンジ



中央アフリカ コートジボワール ガボン



ギニア マリ モーリタニア



ニジェール コンゴ民主共和国



セネガル トーゴ

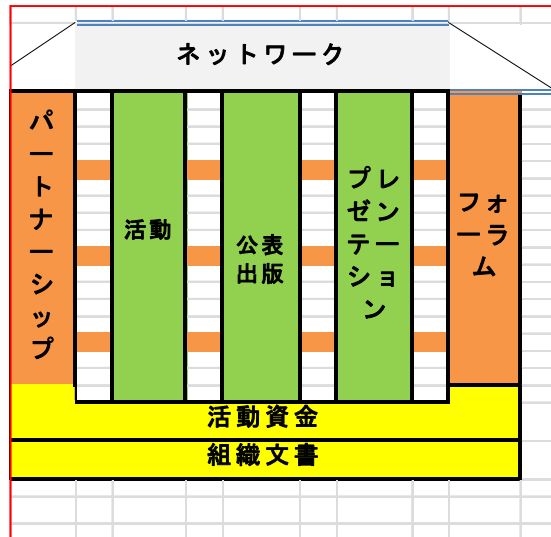


支援パートナー



RVT2010

アフリカ 連帯 ハウスモデル



ネットワーク組織構造

総会（隔年）

事務局会合（年2回）

事務局長1名

事務官1名

渉外担当1名

財務担当1名

事務局長は13加盟国のフォーカルポイントに支援されています。

ネットワークの機能に関して各種専門家派遣で技術支援を行います。

ネットワーク創設の歩み

国際協力機構（JICA）は国際医療研究センター（NCGM）を実施機関とし、課題別研修「仏語圏アフリカ人材管理」を実施し、2010年から2013年までに10か国名76名の研修員が参加しました。2012年1月に本邦帰国研修生が中心になり、アフリカの保健人材発展のために、仏語圏アフリカ広域ネットワーク「Réseau Vision Tokyo 2010（通称RVT）」がダカール宣言とともに設立されました。

このネットワークは持続的開発に貢献するよう、加盟国やその関係機関のために価値観、主義、行動を共に発展させていくことを基盤においています。



RVT2010

ビジョン



保健人材開発のためのRVT2010戦略プランは加盟国の保健医療政策に反映させることです。

特に以下の点に集約しています。

- 保健人材育成計画が連携していて、首尾一貫していること。
- 保健人材の配置が民主的におこなわれること。
- 保健人材の僻地定着を促進する措置がとられること。
- 保健人材管理に関連する決定がエビデンスに基づいていること。